

今月のARは
四日市の特産品「日永うちわ」と
四日市の祭り「けんか祭り」です。

見方は、13ページの「広報紙で動画を見よう」を
ご覧ください。



特集

高齢者が住み慣れた地域で
安心して暮らしていくために

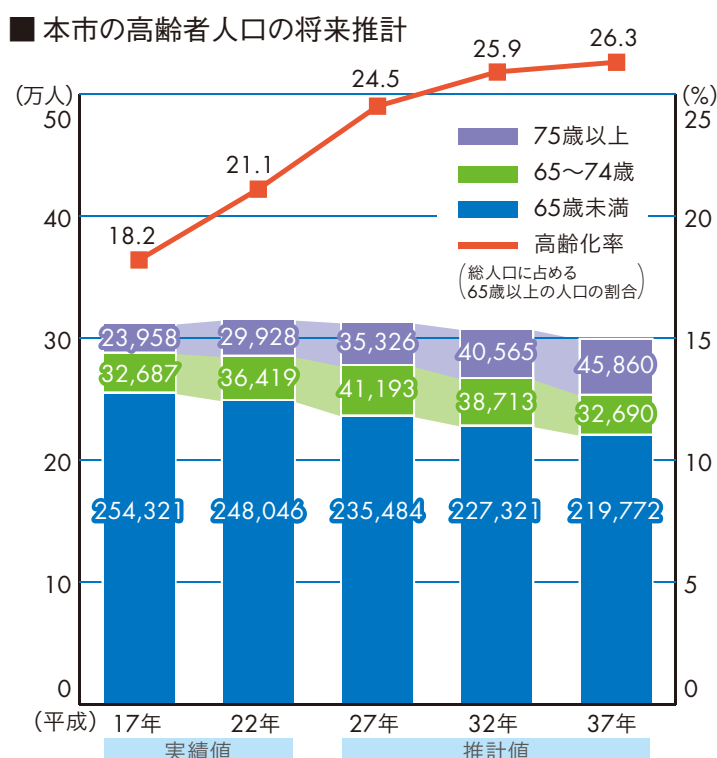
表紙「きらめく四日市人」
四日市こどもまつり

表紙こぼれ話は13ページをご覧ください。

高齢者が住み慣れた地域で 安心して暮らしていくために



ますます高齢化する社会を迎える今日。
四日市市は、市民が支え合い、健康で自分らしく
暮らせるまちづくりを目指していきます。



本市の人口は、平成23年度を境に緩やかに減少していますが、高齢者数は年々増加し続け、「団塊の世代」が75歳以上となる平成37年度には高齢化のピークを迎えます。

今までと同様の医療・介護サービスを続けようとするれば、介護保険料や税負担の大幅な増加は避けて通れません。また、これに対応できるだけのサービス量の確保も容易なことではありません。

こうした将来の姿を見据え、持続的に高齢者を支えていくためには、制度そのものの変更や安定的な仕組みづくりが必要となります。

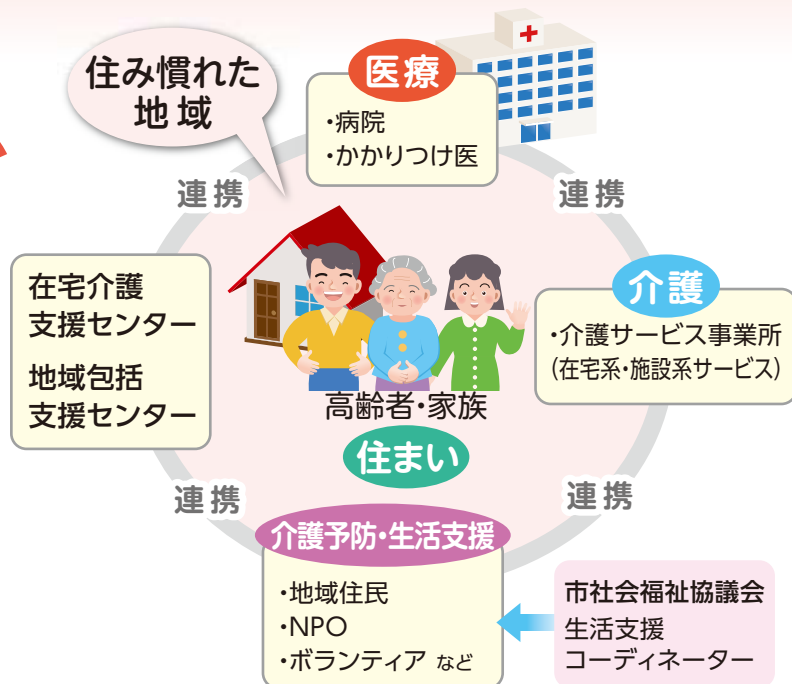
そのため、市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築を推進していきます。

本市が目指す 地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの各サービスを地域で一体的に提供して、高齢者を支える仕組みのことです。

このシステムは、医療・介護の専門職による公的サービス(公助)だけでなく、介護予防など自らの自立に向けた取り組み(自助)、ボランティア活動などの地域での支え合い(共助)を組み合わせながら作っていく必要があります。

市では、これらの育成と連携体制づくりを進めながら地域包括システムを構築していきます。



在宅介護支援センターと地域包括支援センター

在宅介護支援センター ～困ったときにまず相談～

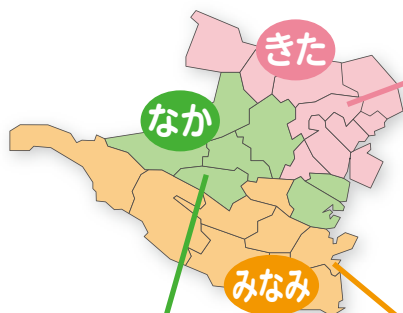
高齢者やその家族が、身近な地域で最初に相談できる窓口として、市内26カ所に在宅介護支援センターを設置しています。「介護や福祉のサービスを使いたい」「家族に介護が必要な人がいるけど、どうしたらいいかわからない」というときは、まず、在宅介護支援センターへご相談ください。

地域包括支援センター

～専門的な相談支援機関～

高齢者虐待・消費者被害などの相談・支援、認知症に関する相談・支援、困難な課題を抱えたケースへの対応などを行う専門機関として、「北」「中」「南」の3つの地域包括支援センターを設置しています。

地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師といった専門職員を配置し、在宅介護支援センターや地域のケアマネジャーと連携しながら対応を行います。



北地域包括支援センター
☎ 365-6215

〈在宅介護支援センター〉		
地区	名称	電話
富洲原	天カ須賀	361-5361
	富洲原	366-2600
富田	富田	365-5200
羽津	羽津	334-3387
海蔵	海蔵	333-9837
大矢知	ヴィラ四日市	363-2882
八郷	ハピネスやさと	366-3301
下野	諧朋苑下野	338-3005
保々	聖十字保々	339-7788

中地域包括支援センター
☎ 354-8346

〈在宅介護支援センター〉		
地区	名称	電話
橋北	橋北楽々館	334-8588
中部	みなと	357-2110
	ユートピア	355-2573
川島	川島	322-3613
神前	かんざき	327-2223
桜	桜	326-6618
三重	陽光苑	333-4622
県	くぬぎの木	327-2267

南地域包括支援センター
☎ 328-2618

〈在宅介護支援センター〉		
地区	名称	電話
常磐	常磐	355-7522
四郷	四郷	322-1761
日永	日永	347-9977
塩浜	しおはま	349-6381
小山田	小山田	328-1814
水沢	水沢	329-3553
内部	うねめの里	348-3988
河原田	南部陽光苑	347-7336
楠	くす	398-2001

地域で支える介護予防・生活支援

誰もが集える居場所づくり スマイルカフェ

橋北地区では、高齢者、特に男性の閉じこもりが問題になっていました。そこで、誰もが気楽に訪れることができる居場所をつくることを目的として、原則第3日曜日の午前10時から正午までオープンする「スマイルカフェ」を開設しました。

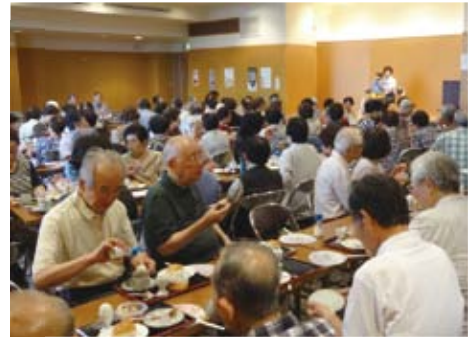
萬古焼のコーヒーカップは、橋北中学校の生徒さんがデザインしました



NPO法人ニコニコ共和国
理事長 高井俊夫さん

好きな時間に来て、好きな時間に帰って構わないカフェです。

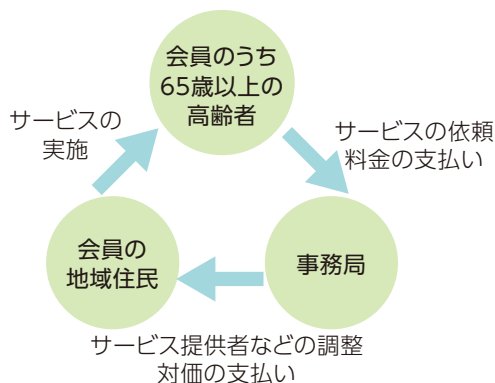
外に出て、人と話せば気分も変わります。カフェをきっかけに、近所の人と声を掛け合うようになったとか、毎月楽しみにしているという声を聞きます。また、スタッフも工夫を重ねながら楽しんでやっています。地域を笑顔でいっぱいにするために、これからもずっと続けていきます。



地域完結型生活支援サービス ライフサポート三重西

住み慣れた地域で、なるべく長く住み続けるために、高齢者の日常生活を住民同士で助け合う、三重団地を中心とした三重西地区の会員制組織です。介護保険ではサポートできないことを中心に、ごみ出しや、庭木の剪定などの8種類の生活支援サービスを安価で行っています。

今年度からは、75歳以上の希望する高齢者に対し、台風や地震などの警報が発令した際に電話で安否を確認する、安心声掛けネットワークを始めるなど、活動の幅も広がっています。



南條勇さん(左)、美代子さん(右)

日々の通院の付き添いや病院の薬の受け取りのほか、大きな家具の移動のときなどで利用しています。

困ったことがあった時も、すぐ相談に乗ってもらえるので、この会があって、とても助かっています。



身近な地域で体操教室 川北緑寿会

健康づくり課が実施している「地域でお達者クラブ」という事業の支援を受け、自分たちで介護予防のための体操を行っています。

DVDを見ながら、簡単なストレッチ体操や筋力トレーニングを行い、その後は、懐かしのメロディーをハーモニカに合わせてみんなで歌ったり、ハンドベルの演奏をしたり、早口言葉を練習したりと、月2回、みんなで和気あいあいと活動しています。



筒井修次さん

一人ではなかなか続かないから、家の近くで、みんなと一緒に体操できるのはいいですね。自分のできることを自分なりにやっています。



ほかにも参加者の皆さんから、「定期的集まってお話ししたり、声を掛け合ったりするのが楽しい」「一人では手を抜いてしまうけど、みんなと一緒になら最後まで頑張れる」「歌うのが楽しい」などの声がありました。

地域の支え合いをサポートしていきます

高齢者になっても、みんなが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域での支え合いが大変重要になってきます。ご紹介したような「介護予防」や「生活支援」の取り組みを、地域が主体となって広げていきたいと思っています。

そのため、市は今年度から、市社会福祉協議会に「生活支援コーディネーター」を配置し、地域で支え合いの取り組みを進めたい人たちの相談・支援や担い手の育成を行っています。

介護予防・生活支援体制づくりの補助事業を開始します！

市は、地域住民、ボランティア、NPO法人などが主体で行う「介護予防」や「生活支援」の活動を支援するため、その立ち上げ経費の一部を補助する事業を開始します。

詳しくは、介護・高齢福祉課(☎354-8170)までお問い合わせください。

介護予防を行う自主団体を支援します

健康づくり課では、毎年、「地域でお達者クラブ」という講座を開催しています。これは、地域の集まりに健康づくり課の職員が出向き、皆さんで実施できる体操を紹介するものです。

詳しくは、健康づくり課(☎354-8291)までお問い合わせください。

認知症施策の推進

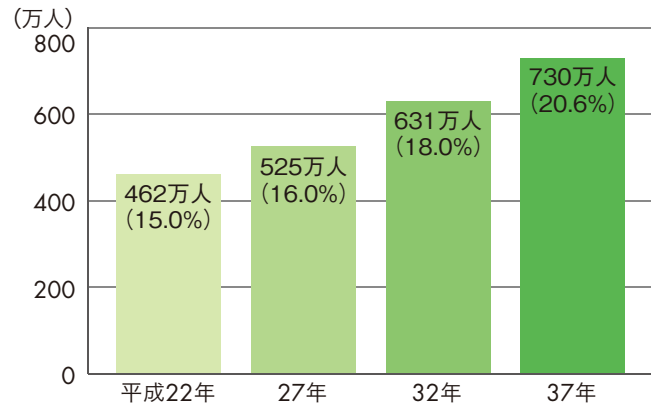
日本全体の認知症患者の数は、平成22年現在、約462万人で65歳以上高齢者の約7人に1人となっていますが、高齢化の進行などによって、10年後の平成37年には約730万人、高齢者の5人に1人まで増加すると予測されています。

今や、誰もが認知症になり、家族として介護する可能性がある、そんな時代になっています。

認知症は、自分では認めたくない、家族も周りには知られたくないと思いがちなため、症状が進行して徘徊や妄想などのトラブルが起きてから相談に訪れる人が多いのが現状です。しかし、早期に治療・相談を行えば、進行を防いだり遅らせたりできる場合や、対応方法の工夫で問題行動を未然に防げる場合もあります。

市では、認知症の早期診断・早期対応体制を整備するとともに、地域での見守り・支援体制づくりを進め、認知症を発症しても、地域の中で安心して暮らせるようなまちづくりを進めています。

■ 認知症患者数の将来推計(カッコ内は65歳以上人口対比)
出典:日本における認知症の高齢者人口の推計に関する研究



認知症の早期診断・早期対応体制の構築

認知症予防の早期診断、早期対応に向けて、地域包括支援センターの医療職、介護職に、認知症の専門医を加えた「認知症初期集中支援チーム」を、今年度、モデル的に北地域包括支援センターに設置しました。医師がチームに加わったことで、医療的な視点から適切な治療につなげられるようになりました。

「認知症かも」と考えたら、まずは、かかりつけ医や在宅介護支援センターにご相談ください。必要に応じて、専門の医療・介護機関や「認知症初期集中支援チーム」を紹介します。



四日市市北地域
包括支援センター
センター長 鈴木 廣子さん

「最近物忘れが多くなったかな」「認知症かも」と少しでも思うことがあったら、かかりつけ医などにいつでも相談してください。

「何か変だけど認知症とは認めたくない」「認知症と診断されるのが怖い」と思われるかもしれません。でも、認知症は病気です。認知症は早期診断、早期治療さえすれば、進行を抑えることができます。ご本人だけでなく、家族や周りの人が「何か変だな」と感じるものがあつたら、ぜひその段階で相談に来てください。

地域での見守り・ 支援体制づくりを進める 認知症地域支援推進員

認知症に対する地域の理解を広めるとともに、認知症の人と家族を見守り支援する地域の協力体制づくり、集いの場づくりなどを進めるため、今年度から、3つの地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置しました。

徘徊対応模擬訓練を実施

昨年11月、三滝台の認知症の人が行方不明になり、他地区で無事見つかるという事案がありました。団地内の高齢化率が高まる現状を踏まえ、自治会では、「見つかってよかった」で済まらず、搜索する体制やマニュアル整備を進めることになりました。その取り組みの一つとして、認知症の高齢者が徘徊し、行方不明になったと想定した早期発見訓練が、防犯パトロール隊員が中心になって、5月17日に行われました。



三滝台自治会長 袴田 政廣さん

役割や時間を伝えるとシナリオ通りの訓練になってしまうので、隊員には訓練日だけを伝えました。訓練では、認知症の人は病人や高齢者だろうという先入観から、なかなか発見することができませんでした。でも、今回の訓練をやってよかったと思っています。参加者から改善点の意見も出てきたし、在宅介護支援センターの職員さんに認知症の人への声の掛け方などを教えてもらったからです。

7月末をめぐりにマニュアルを作る予定なので、マニュアルに基づいた訓練をもう一度行いたいと思っています。

徘徊高齢者 SOSネットワーク 事前登録始めます!

徘徊の恐れのある高齢者が行方不明などになったとき、関係機関への情報発信が速やかに開始されるよう、名前や特徴、写真などの情報を事前登録できる「SOSネットワーク事前登録制度」を始めます。詳しくは、広報よっかいち7月下旬号でお知らせします。

介護保険制度改正により利用者負担が一部見直されます

介護費用の増加に対応するため、今回の介護保険制度改正によって、平成27年8月から、下記の通り利用者負担の一部が見直されます。詳しくは、介護・高齢福祉課へお問い合わせください。

65歳以上の被保険者のうち、
一定所得以上の方は
介護サービスの
利用者負担が2割に

■利用者負担が2割になる人

以下の①、②の両方にあてはまる人

①本人が市民税課税で合計所得が160万円以上

②同一世帯の65歳以上の人(本人含む)の
「年金収入+その他の合計所得金額」

単身の場合:280万円以上

2人以上の場合:346万円以上

7月中に、介護認定がある人に負担割合証を交付しますので、ご確認ください。

施設での食費・居住費の負担限度額の認定に資産と配偶者の所得を追加

施設での食費・居住費の負担限度額の認定に、預貯金額が単身で1,000万円、夫婦で2,000万円以下であるという資産要件が追加されました。また、配偶者の市民税課税状況も判断材料に加わりました。申請の際には、預金通帳の写しなどの添付が必要になります。

高齢化が進行し続ける中であって、今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を作るには、市民の皆さんとともに「地域包括ケアシステム」を構築していく必要があります。ぜひご協力をお願いします。



どうして天津市と友好都市なの？

本市は、国際的な港と伝統的な産業、そして大規模な石油化学コンビナートなどを有し、日本有数の工業都市として栄えています。天津市も、中国最大級の港を持ち、油田を中心に成長を遂げている産業都市です。規模は違うものの似たような産業構造を持つことから、友好都市提携を結ぶことは両市にとって有意義であるとして、昭和55年10月28日に提携に至りました。

これまで経済、環境、文化、スポーツ、教育などの広範な分野で交流を続けており、今年で提携35周年を迎えます。

さらに深まる
友好と信頼



地球環境塾 平成20年から毎年夏期に、天津市、ロングビーチ市、本市の高校生が環境問題について本市で学習し、成果発表を行っています



記念事業 両市は5年ごとに記念事業を実施しており、30周年には天津市を主会場に開催しました。今年度の35周年は本市が主会場です



スポーツ交流 これまでにサッカー、ハンドボール、卓球、ソフトボールなどの交流試合を行ってきました

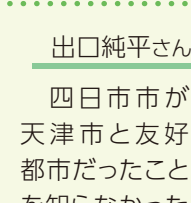
中学生が 広報の編集協力

このページの編集は、市役所で職場体験中だった保々中学校 市川忠樹さん、出口純平さんが担当しました



市川忠樹さん
今回の職場体験の中で、四日市市に友好都市があること、それが中国にあることを初めて知りました。今後、交流会などがあつたら、積極的に参加していきたいと思ひます。

.....



出口純平さん
四日市市が天津市と友好都市だったことを知らなかったし、どういう活動をしているのかも知りませんでした。地球環境塾などが行われていると知り、参加してみたいと思ひました。

35周年記念事業

青少年スポーツ交流

[8月1日(土)~6日(木)予定]
・天津市から中学生男子サッカーチームと中学生女子バスケットボールチームを受け入れ、8月3日(月)に中央緑地で本市の中学生との交流試合を開催

文化交流 [10月16日(金)~21日(水)予定]

・天津市から伝統楽器の音楽グループを受け入れ、全国ファミリー音楽コンクール in よっかいちへの特別出演や、市内の小・中学校での演奏会を開催 など

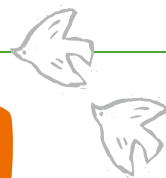
四日市市公式訪中国の派遣 [10月下旬予定]

天津市公式代表団の受け入れ [11月上旬予定]

・表敬訪問、歓迎レセプション
・市内視察(「四日市公舎と環境未来館」など)

経済交流[11月下旬予定]

・天津市経済貿易代表団の受け入れ
・企業商談会や商品展示即売会の開催 など



更生保護のマスコットキャラクター
更生ペンギンのホゴちゃん

おかえり

～立ち直りを支える地域の千カラ～

■「更生保護」とは？

犯罪や非行をした人たちが、「再び社会の一員として立ち直るのを助けよう」とする活動のことです。犯罪や非行をした人が、その罪を償い、社会の一員として立ち直るためには、本人の強い意志や行政機関の働き掛けだけでなく、地域社会の理解と協力が不可欠です。

日本では、保護司をはじめとする更生保護ボランティアと呼ばれる人たちのほか、更生保護への理解と協力の下、地域の人々、関係機関・団体との幅広い連携によって更生保護は推進されています。

明るい社会を
目指して

「幸福の黄色い羽根」
本運動への賛同の印です。

更生保護に関わる人々

保護司

法務大臣が委嘱した更生保護ボランティアで、犯罪や非行をした人の立ち直りを助けるとともに、犯罪予防の活動に取り組んで、地域の安全・安心に貢献しています。

更生を支え、犯罪予防も〈四日市保護司会 会長 加藤 貞幸さん〉

保護司の活動は、対象者との面談などだけではなく、犯罪予防活動も大切な役割です。社会を明るくする運動など、全国的な取り組みもありますが、身近な地域社会に活動を理解してもらうことが大切です。



今後は、平成25年4月1日に開設した四日市更生保護サポートセンター（写真）を活用しながら、こうした啓発活動のほか、保護司の資質向上、新しい保護司の発掘にも力を入れていきたいと考えています。

更生保護女性会

女性としての立場から、地域の犯罪・非行の予防活動、子育て支援などの活動に取り組むボランティア団体です。



ピースエスBBS会

兄や姉のような身近な存在として少年たちと触れ合い、悩みの相談に乗るなどの活動に取り組む青年ボランティア団体です。



地域の人々

更生保護に係る啓発活動など、たくさんの人々に関わっていただいています。



協力雇用主

犯罪や非行をした人を、その事情を理解した上で雇用し、自立を支援している民間の事業者です。



7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で65回目を迎えます。本市においても、毎年、各地区で啓発活動に取り組んでいます。

市民の皆さんの
ご理解・ご協力を
お願いいたします



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：7月11日～8月10日 9:00・20:30

○小学生の時から「大工」

大工さんが作業している姿を見て、「格好いいなあ」と思ったことが大工を目指したきっかけです。工作が好きだったこともあり、小学生の頃には、四日市工業高校の建築科に入って、大工の勉強をすると決めていました。

○ものづくりのコンテストに挑戦



東海大会で課題に取り組む
富山さん

高校2年生の時、「高校生ものづくりコンテスト」で県の代表に選ばれ、東海大会に出場しました。他の選手のレベルが分からず不安もありましたが、懸命に取り組み、優勝することができました。

また、全国の20歳以下の学生・訓練生を対象とした「若年者ものづくり競技大会」の建築大工部門にも推薦していただき、出場することができました。

○地元の工務店に就職

高校の授業に講師として来てくれていた今の親方に憧れ、卒業したら働かせてほしいとお願いし、4月から勤務しています。

高校でしっかり学んだつもりでしたが、授業や競技と、実際の仕事は全く違います。分からないことがたくさんあり、毎日が勉強です。



とみやま だい
富山 大さん

四日市工業高等学校在学中に、県内最年少記録で建築大工二級技能士の検定に合格し、卒業後、地元の工務店で勤務を始めた富山さんに、今後の抱負などについて伺いました。

○信頼される大工を目指して

親方の仕事はとても丁寧で、石膏ボードを貼る作業一つとっても、私とは正確さが違います。また、掃除や道具の手入れなど、技術だけでなく、仕事に対する心構えを教えていただいています。

たくさんのお話を学び、一日も早く信頼される大工になり、立派な日本家屋を建てられるようになりたいと思っています。



尊敬する親方・谷和憲さんと

頑張る建設職人を応援します！

三重県建設労働組合（三重建労）では、職業訓練校を運営しており、富山さんも、在学中から技術習得などのサポートを受けています。また、労災保険や健康保険、共済制度、資格取得などを取り扱い、職人の仕事と暮らしをサポートしています。



けんろうくん

三重建労 四日市支部 (☎354-1531)

有料広告掲載欄

まだまだ現役で働きたい主婦やシニアの方!!

お弁当の宅配 **「まごころスタッフ」** 大募集

毎日同じお客様にお届けするので自然と親しくなり、「いつもありがとう」という言葉に、「使命感がうまれる」
「毎日が充実している」というスタッフがたくさんいます。まずは説明会に参加して、お仕事内容を聞いてみませんか?

まごころスタッフ
からのコメント

毎日楽しみに待っていて下さるお客様がいる嬉しさ、そんなお客様からのありがとうがやりがいになっています!!

お届け時間に支障がなければ、お仕事の合間にちょっとした用事も済ませることが出来ます!

ライフスタイルに合わせてお届けする軒数や時間など自分のできる範囲で無理なく始められます!

ワタミの宅食

宅食®はワタミ株式会社の登録商標です。

業務委託 報酬例
10時～17時の間で自由選択
30軒/日
月95,000円程度
※車持ち込みできる方

0120-53-7070

受付時間 午前9時～午後7時 日曜日のみ午前9時～午後6時

ワタミフードシステムズ株式会社
東京都大田区羽田1-1-3

三重四日市営業所
四日市市大矢知町952-1

三重四日市南営業所
四日市市小古曾3-2-9

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

未来へはばたけ あすなろう鉄道



4月から新たにスタートした四日市あすなろう鉄道（内部・八王子線）を紹介するコーナーです。

南中学生、海星高校生が応援

「四日市あすなろう鉄道応援 追分駅 花いっぱい運動」が5月23日に開催されました。



この取り組みは、南中学校の生徒がプランターに植えた花苗を追分駅に飾り、その後の水やりなどの管理を海星高校の生徒が行うものです。

作業を通して、生徒たちには、



四日市あすなろう鉄道への愛着が深まったことと思います。

この日は、日永駅で清掃活動を実施した団体もあったほか、5月30日には日永駅・小古曾駅などで美化活動が実施されました。

持続可能で魅力ある鉄道となる

ためには、市と四日市あすなろう鉄道株式会社だけでなく、皆さんの熱意が必要となってきます。

以前から継続して活動している団体に加え、初めて活動した団体が続き、小学生から高齢者まで、みんなで協力し支えていこうという活動の広がりが、この鉄道を未来へつなげていくこととなります。

問い合わせ先

都市計画課 公共交通推進室
(☎354-8095 FAX354-8404)



こにゅうどうくんの お部屋



市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。今回は、8月1日・2日開催の「大四日市まつり」の案内をするね♪ ※「facebook」「Twitter」をしているよ。チェックしてね！

「大四日市まつり」で ゆるキャラ®グランプリ出陣式 キャラクターイベントも

四日市市の夏の風物詩、「大四日市まつり」が8月1日(土)・2日(日)に開催されるよ。

1日には、インターネットによる投票で、キャラクターの人気順位を決める「ゆるキャラ®グランプリ」のボクの出陣式をするよ。8月17日から毎日投票できるから、ぜひ投票してね！

2日には、他のキャラクターも集まるイベントを開催するから、ぜひみんな遊びに来てね！

おさんぽスケジュール

- 7月17日(金)～19日(日)
四日市STYLE
(東京都中央区日本橋「三重テラス」)
- 8月1日(土)・2日(日)
大四日市まつり



※「JIMOキャラ総選挙」応援ありがとう！順位はホームページを見てね

問い合わせ先

観光推進課
(☎354-8176 FAX354-8307)



昨年の出陣式の様子



久しぶりにパパに会えるから嬉しい！

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「コロくん」

LPガスと太陽光発電など
様々なエネルギーを組み合わせ
エコと快適を両立した
ライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

博物館で 再発見

～久留倍の村から～

今から約2,000年前の人々の暮らしはどのようなものだったのでしょうか。

博物館常設展「時空街道」には、弥生時代後期の竪穴住居が原寸大で再現されています。家の中心には炉があり、その周りで家族が食事をしたり、寝たりしていました。

今から見ると貧しい暮らしのように見えますが、弥生時代以前と比

リニューアルした博物館・プラネタリウムで、私たちのまちや、私たち自身の未来について考え、このまちや自分自身を再発見する旅にかけましょう。

べると、先進的な暮らしの形がここにはあります。

人類が誕生してから数百万年の間、人々は火を使うことを覚え、道具を作り、暮らしを便利にしてきました。そして竪穴住居での暮らしに至ったのです。家の中心で火を燃やし、煙が漂う生活は、今から100年ほど前まで、長きにわたって営まれていたのです。

弥生時代の人々の平均的な寿命は30歳代といわれ、現代人と比べてとても短命です。健康や長寿を手に入れるために、人々は何世代にもわた

って経験を積み重ねてきました。

現在の私たちの便利で豊かな暮らしには、長い時間と、たくさんの人々の経験が生かされているのです。



時空街道「久留倍の村」

問い合わせ先

博物館

(☎355-2700 FAX355-2704)

未来を拓く 子育て支援

～生後4カ月までの赤ちゃんのご家庭を訪問しています～

市では、健やかな赤ちゃんの成長を願って、おおむね生後4カ月までの赤ちゃんのいる全ての家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」事業を行っています。

❖こんにちは赤ちゃん訪問とは？

市の発行した身分証明書を携帯した「こんにちは赤ちゃん訪問員」が、ご家庭を訪問します。

赤ちゃんとの生活を応援するため、

妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまでの、子育てに関する情報や支援について紹介します。

育児上の悩みや不安などをお聴きし、子育て支援に関する情報などを紹介しています。

❖保健師・助産師などによる訪問

このほか、「初めての出産で授乳や育児の方法が分からない」、「小さく生まれて体重の増加が心配」、「産前産後のお母さんの健康管理や生活の仕方が分からない」、などの不安や心配のある家庭へは、保健師や助産師などが訪問しています。

❖その他の母子保健サービス

赤ちゃんとの外出ができるようになったら、毎月、総合会館で実施している「育児相談」もご利用くださ

い。保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士が、個別に相談をお受けします。特別な相談がなくても、身長・体重測定だけでもご利用いただけます。

育児相談の実施日は、毎月の広報よっかいち下旬号「保健だより」、またはホームページでもお知らせしています。



問い合わせ先

こども保健福祉課 母子保健係

(☎354-8187 FAX354-8061)

有料広告掲載欄

大阪・京都・奈良⇄四日市

乗車地/近鉄四日市、生桑(駐車場有)

大阪・京都

片道2,550円 往復4,100円(小児半額)

奈良

片道2,000円(小児半額、往復割引なし)

要予約059-229-5555(9:00~18:00)

■お問い合わせ



三重交通株式会社 四日市営業所 ☎(059)323-0808

三重交通

検索

高速バスって、便利でお得!

四日市⇄中部国際空港

毎日10往復

乗車地/新正(駐車場有)、近鉄四日市、

都ホテル、生桑(駐車場有)、東芝、垂坂(駐車場有)

片道1,500円(小児半額)



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



【地域でお達者クラブ】※5ページでも地域でお達者クラブを紹介しています
四郷いきいきサロンやんばいやね（6月4日 四郷地区）

介護予防のための簡単なストレッチと筋力トレーニングを行いました。椅子に座ってできるので、自宅でも無理なく続けていける内容でした。

終始、皆さんの笑顔があり、楽しんで健康づくりに取り組んでいました。



初めての社交ダンス教室（6月7日 日永地区）

申し込み初日に定員を上回る応募があった7回連続講座の初回の様子です。

皆さん、ブルースの音楽に合わせて「スロー、クイック、クイック」のステップをペアで仲良く練習しました。

「あっという間の1時間」だったそうです。

表紙こぼれ話

今月の「きらめく四日市人」は、5月17日(日)に四日市ドームで開催された、「四日市こどもまつり」を楽しむ子どもたちです。

広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！



四日市市のゆるキャラ® 「まるごと四日市」のサイト
「こにゅうどうくん」



「ちゃんねるよっかいち」7月放送予定について(お詫びと訂正)

CTY 地デジ12ch **ちゃんねるよっかいち** 放送時間(20分間) 毎日 9:00・20:30

市では、CTY地デジ12chを通して、皆さんに身近な市政情報を提供しています。毎月、1日、11日、21日に番組を更新し、前月の広報よっかいち下旬号のご案内していますが、7月11日以降の放送予定の番組について、6月下旬号の掲載記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。改めて番組内容をご紹介します。

7月11日(土)～20日(祝) 議長・副議長 各常任委員長決まる

市議会で新しく選出された議長・副議長、各常任委員会の委員長に、今後の議会の進め方や抱負を聞くとともに各役員を紹介することで、開かれた議会をアピールします。

7月21日(火)～31日(金) 笑顔になれる子育てを！子育て支援センター

主に乳幼児(0～3歳)をもつ親とその子どもが気軽に利用し、交流や育児相談ができる場、子育て情報の提供の場である「子育て支援センター」を紹介します。

なお、「地域を守る！消防団」については、予定どおり7月10日(金)まで放送しています。また、「すわ公園交流館に行ってみよう」は、8月1日(土)～10日(月)の放送になります。

問 広報広聴課 (☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部
随時加入者 募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



**トッキーの
市政トーク**

**四日市市長
田中 俊行**

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、教育の取り組みについてご紹介します。今年度から、地方の教育行政に関する法律改正に伴って、5名の教育委員と市長とで構成する「総合教育会議」を設置しました。

これまでは、教育に関する市長の権限は、主に教育予算の編成権や教育委員の任命権などでしたが、法改正によって市長の権限が強化されたところです。

例えば、教育の大綱を策定し、それに基づいて具体的な教育のあり方について「総合教育会議」を通じて提案することができるようになり、市長の意見が名実共に教育行政に反映されやすくなったと言えます。

第1回の「総合教育会議」では、早速、私の方から「社会人になっても通用する問題解決能力の養成」・「豊かな人間性の育成」・「体力の強化」を本市の教育の3本柱とすること、また読書や新聞記事を活用した「1分間コメント」という手法で読解力、要約力、思考力、表現力などを向上させること

などを改めて提案しました。

もちろん、教育委員さんのご意見を尊重しながら、「教育のまち、四日市」を目指して全力を尽くしてまいります。

市民の皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



第1回総合教育会議

国際環境100人会議

先日、ユネスコの委員会議長をはじめとする海外の要人や日本の行政・企業・市民団体などの代表が集う「第2回宗像国際環境100人会議」に招待され、講演をしてきました。

私は、「環境先進都市を目指す四日市市の取り組み」と題して、公害の歴史や教訓、さらには産業の発展と環境保全を両立させてきたまちづくりのプロセス、また、海外の研修生を受け入れてきた国際協力の実績などを話しました。

もちろん、オープンしたばかりの「四日市公害と環境未来館」もPRしました。地元の中・高校生との交流会では、四日市の魅力についての質問も出て、シティーセールスの手応えも感じたところです。



講演する市長

トピックス

獣魂慰霊祭

皆さんは、「獣魂慰霊祭」をご存じですか。

市が開設している「食肉センター・食肉市場」(牛と豚を食肉処理し、処理された枝肉を取り引きする北勢地域の食肉の流通拠点)において、私たちに食肉として供給された家畜に感謝するために、毎年開催されている行事です。

当日は、四日市市をはじめ、鈴鹿市・亀山市・菟野町の関係者の参列のもと、慰霊祭が厳粛に執り行われました。過去1年間の食肉となった牛・豚の霊



祭詞を奉読する市長

を獣魂慰霊碑に合祀して慰霊するとともに、市として、良質で安心・安全な食肉を円滑に流通させる役割の重要性を改めて感じました。

有料広告掲載欄

『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』でお困りではありませんか？

借金 借金で困っています。会社やお店はどうすれば...?

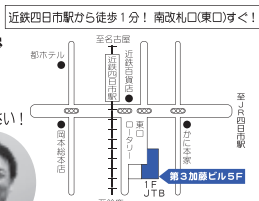
交通事故 保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすれば...?

相続 遺産分割の話し合いが難しいです。

離婚 調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

安心してご相談ください！
お一人お一人私が丁寧に対応します！

まずはお電話ください！



尾市法律事務所

◆土曜日や夜間も対応可(要予約)◆
☎《予約制》059-350-2080

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
◆一般法律相談料(初回)30分 5,000円(税別)◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,646人 [5月末日現在(前年比-42)] ■火災件数 10件 [5月分(前年比+1)] ■交通事故件数 891件 [5月分]

「広報よっかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ